

令和元年度 経営発達支援計画 実績報告

当所の経営発達支援計画にかかる評価委員会を下記の通り開催いたしました。
評価委員3名の方へ事業内容および実績を報告し、評価と意見を頂きました。

日 時:令和2年11月24日(火)14:00~15:30

場 所:当所2階常議員会室

委 員:南山 賢悟様(中小企業診断士)

奥田 展久様(日本政策金融公庫彦根支店支店長)

高月 多智男様(彦根市産業部次長兼地域経済振興課課長)

- ・アンケート回答数の少なさに対し、今後どのように対応していくのか。来所時にアンケートを求めても良いのではないかと。
- ・経営分析結果は個社へのフィードバックだけでなく、公開しているのか。特定出来ない範囲で成功例を公開できると良いと感じた。
- ・セミナーの実施回数と事業計画の策定件数だけで良いのではないかと。
- ・商圈調査のためのツールについては、各地で導入せず全国で共通して使用できるように導入をしてはどうか。コロナによる変化は考慮しにくい部分があるが商圈調査の必要性を説いてはどうか。
- ・展示会出展支援に関して、今後オンラインを活用した WEB 展示会へとさらに進んでいくものと考えられる。型式が変わっても、支援プログラムは活かせると思うので、活用して行って貰いたい。
- ・今後は、どのメディアを通じて PR をするのか・どの展示会に出展するのかについて、幅広い業種への対応より狭く深くという観点を意識しても良いと思う。
- ・行政や各支援機関との情報交換が継続して行われている点は良く、今後は大学との協定も踏まえ、大学との連携を図っても 良いのではないかと。
- ・ノウハウの共有が取り組まれているので、支援ニーズを掘り下げていき、ノウハウの 質を高めていく取組も導入してはどうか。